



秋季特別展・姫路城世界遺産登録30周年記念

姫路城



ゆかりの 工芸

開窯200年の東山焼

とうざん やき

寿ぎの高砂染を中心

たかさごぞめ



高砂染裂（江戸時代末頃～昭和時代初期頃）
復元高砂染型紙（平成時代）当館蔵



東山焼
「染付楼閣山水図鶯耳花入」
高 29.5 cm 江戸時代



永世舎「色絵春秋鹿図角大花瓶」
高 45.0 cm 明治時代

いずれも
鐵元堂
コレクション
より

※ 作品の縮尺は
不統一です。



白鷺製「色絵柳下釣客図花瓶」
高 35.0 cm 明治時代

令和5年10月28日(土)～12月24日(日)

会期中の休館日/月曜日、11月24日(金)

主催・会場/姫路市書写の里・美術工芸館（企画展示室・一般展示室）

企画/公益財団法人 姫路市文化国際交流財団

開館時間/10:00～17:00（入館は16:30まで）

入館料/一般 310 (250) 円、大学・高校生 210 (160) 円、中学・小学生 50 (40) 円

※関西文化の日【11月18日(土)・19日(日)】は入館料無料

11月1日(水)から30日(木)までは、書写山ロープウェイの当日半券をご提示で、半額になります。

※常設の展示もご覧いただけます。

() 内の料金は 20 人以上の団体。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、及び介護者 1 人、姫路市内在住の 65 歳以上の方、どんぐりカード、ココロンカード提示の小中学生は無料。

姫路市書写の里・美術工芸館

〒671-2201 兵庫県姫路市書写 1223 番地

TEL. 079-267-0301 FAX. 079-267-0304

<https://www.city.himeji.lg.jp/kougei/>



姫路城が平成5年12月に世界遺産に登録されて、今年は30周年となります。

その歴史をさかのぼる江戸時代末期のこと、姫路藩は最大危機ともいえる大借財の返済に迫られました。難題を見事に解決したのが、4代の藩主に仕えて、今も「寸翁さん」と呼ばれて愛される名家老・河合道臣(1767-1841)です。起死回生戦略のひとつが、特産品による藩財政の立て直しでした。その契機は、文政5(1822)年に成立した、藩主忠実の養子・忠学と徳川將軍家斉の娘・喜代姫との婚約です。姫の化粧料として得た木綿専売制をはじめ、高級贈答品としての、松蔭柄を特徴とする型染の高砂染生産の推進、塩田開発や港の整備も行い、藍染や革細工、菓子などの生産を奨励して、海路などで京や江戸に運び財を得ました。



姫路革
「紅革雲図障泥(馬具)」
幅 69.5cm 江戸時代 個人蔵

なかでも「東山焼」は、当時最先端技術であった磁器生産の成功という画期的なできごとであり、姫路藩の存在感を世に知らしめました。文政年間初期に試造が開始された東山焼は、文政5年12月に中嶋卓助が「陶所掛」になったとの記録(「酒井家家中席順知行高名前書」)から藩の運営開始がうかがわれ、2023年は東山焼開窯200年と考えることができます。この記念すべき年に、地元の収集家による「鐵元堂コレクション」約60点、及び館蔵品をあわせて、東山焼や永世舎など姫路のやきものを中心に展覧するほか、現在の姫路木綿復活の取り組みを紹介、加えて、近年は「大奥御年寄瀧山日記」での記録が発見されて注目される高砂染をはじめ、江戸時代から明治時代の工芸品を中心に、姫路藩の工芸とその美意識を偲ぶ機会を設けます。



播磨鍋「糸目瓢箪図爛鍋」
高 9.7cm 時代未詳 個人蔵

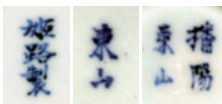


東山焼「飛青磁茶心壺」
高 18.0cm 江戸時代
鐵元堂コレクション

● 関連イベント

● スライドショー「姫路のやきもの」

内容 東山焼、永世舎などの概要を紹介します。
日時 10月29日(日) 14:00～15:30
講師 岡崎美穂(担当学芸員)
会場 会議室
備考 当日先着20人(13:00から整理券配布)。参加は無料ですが展示観覧には入館料が必要です。



東山焼の銘の例

● 展示解説会

内容 展示室で担当学芸員がお話しします。
日時 11月3日(金祝)、18日(土)、12月3日(日)、17日(日)
いずれも 14:00～14:30
備考 当日先着20人(13:00から整理券配布)。参加は無料ですが入館料が必要です。

● 講演会「姫路藩の特異性—「工芸王国」の背景—

内容 地域学研究の第一人者による考察を、わかりやすくご披露いただきます。
日時 11月25日(土) 14:00～15:30
講師 中元孝迪氏(兵庫県立大学特任教授)
会場 展示室内の2階ラウンジ
備考 当日先着50人(13:00から整理券配布)。参加は無料ですが入館料が必要です。



● 体験教室「綿から糸を紡ごう！」

内容 インド綿4グラム程度を紡いで、糸ができる簡易な工程を体験します。
日時 11月26日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30
講師 澤田善弘氏(棉屋善兵衛)
会場 会議室
定員 各20人(小学5年生以上)
参加費 1,000円
備考 11/14(火)までに要事前申込。



■ 会期中のその他イベント

書写山もみじまつり(11/17金～19日) 関西文化の日(11/18土・19日) 協賛イベント

● 革小物作り体験教室

内容 コンパクト小銭入れを作ります。
日時 11月23日(木祝)
①10:00～11:00 ②13:00～14:00
講師 革のコミュニティスポット「ベレテリア」レザークラフトスタッフ
会場 会議室
参加費 1,500円
定員 各回10人(小学生以上対象・保護者同伴なら幼児も可能)
備考 11/14(火)までに要事前申込。



● 秋の文化祭

内容 演奏、ダンス、手品や大道芸など一般応募から選抜した出演者によるステージパフォーマンス
日時 11月4日(土)・5日(日) 10:00～16:00
会場 前庭
備考 観覧無料。ただし館内展覧会には入館料が必要です。



● 書写山スタンプラリー

内容 5カ所のスポットでスタンプを集めると、当館で記念品をお渡しします。
日時 11月17日(金)～26日(日) ※20日(月)及び24日(金)は除く。
10:00～16:30
スポット 圓教寺(摩尼殿、三之堂、開山堂)、書写山ロープウェイ山上デッキ、姫路市書写の里・美術工芸館

● 播磨工芸教室 多数開催、詳しくはWebサイトを参照してください。

■ 同時開催

- 所蔵品展②「清水公照の世界～秋編」 10月28日(土)～12月24日(日)
- 郷土玩具室コーナー展示「栃木県の諸玩具」 8月26日(土)～12月14日(木)
- 「はりこ絵付けコンクール展」 12月9日(土)～12月24日(日)
募集期間 10月21日(土)～12月7日(木)

〈他館情報〉

- 姫路市立美術館 TEL. 079-222-2288
「チームラボ 無限の連続の中の存在」 後期:10月21日(土)～1月21日(日)
- 姫路文学館 TEL. 079-293-8228
司馬遼太郎生誕百年 企画展「小林修写真展 司馬遼太郎『街道をゆく』の視点 -歩いた風土、見抜いた時代」10月7日(土)～11月26日(日)

申込方法

締切日までに往復はがき(希望する教室名と時間帯・住所・氏名・電話番号を記入)またはインターネットの専用サイト(<https://www.city.himeji.lg.jp/kougei/k/>)からお申し込みください。応募多数の場合は抽選し、締切日翌日にはがき発送・メール返信をします。



交通のご案内

- JR・山陽電鉄姫路駅より神姫バス「書写山ロープウェイ」行で約25分、終点下車徒歩約3分。
- 姫路バイパス・姫路西ランプより約15分。
- 山陽自動車道・姫路西ICより約10分。
- 中国自動車道・夢前スマートICより約15分。
- 無料駐車場(45台)



姫路市書写の里・美術工芸館